



横田基地所属C-130Hの部品遺失について（要請）

平成29年7月13日、北関東防衛局を通じて、「平成29年7月12日（水）午後、訓練飛行後に行った点検中に横田基地所属C-130Hの金属部品が無いことが判明した。着陸装置の一部の部品で、大きさは約2インチ×5インチ（約5cm×12.7cm）、重さは約1ポンドのプレートである。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

部品等の落下は人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

先月にも横田基地に着陸したC-5輸送機の部品遺失が確認されたことから、再発防止の徹底を要請したが、再びこうした事故が発生したことは、極めて遺憾である。

度重なる事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、貴職においてはこのような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

平成29年7月13日

横田防衛事務所長 本田 和俊 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長 東京都知事
副会長 羽村市長
立川市長
昭島市長
福生市長
武藏村山市長
瑞穂町長

小池百合子
並木清庄
臼井伸介
加藤育男
藤野勝
杉浦裕之

